

LGBTに理解深めて

豊橋でセミナーに20人



LGBTを取り巻く状況について話す久保さん。豊橋市神野ふ頭町の市男女共同参画センターで

性的少数者（LGBT）への理解を深めるセミナーが二日、豊橋市神野ふ頭町の市男女共同参画センターで開かれた。当事者を取り巻く家庭や職場などが

何をすべきかを当事者や家族、市民ら約20人が学んだ。同市主催。県内を中心にLGBTへの理解を広める出前講座などを行うNPO法人「A性愛者」、トランスジ

久保さんは「『この人になら話せる』と安心してもらえる環境をつくるのが大事」と訴えた。LGBTは、レスビアン、ゲイ（同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジ

STA（アスタ）「共エンダー（心と身体の同代表理事の久保勝性）に違和感のある人」ん（ミ）が講演した。Lの頭文字から取った総GBTの子どもの約六割が教育現場でいじめを受けている調査結果を示し、英語で「支援者」や「協力者」を意味する「アライ」と呼ばれる存在の重要性を強調。支援のあり方として、「おかま」といった差別用語を使わないことなどを挙げ、受講者は熱心にメモを取った。（高橋雪花）